

地域おこし協力隊新聞 No.10

編集・発行
二戸市役所
地域振興課
地域おこし協力隊



川又に伝わる狐話 第七話(全八話)

キジャ山のジャジャ子

も無く、起きたら隣の家に居るはジャジャめき迷惑ばかり。あきれた狐が言えないジャジャ子である。

だが、良いところもある。ジャジャ子はマラソンの選手で、女王の使者として時には糠部ばかりでなく、八戸出羽三山、岩木山、北は下北恐山まで使いをはたすこともある。

糠部三十三群では聯統の優勝者である。今年の東北大会出羽三山の二つ、羽黒山で開催されたが、この七千キロ大会には東北各地から百匹の狐が集まった。この大会でジャジャ子は見事優勝し、糠部の裸足の王者アベと呼びられた。

今度、印度で開かれるオリンピックの代表に選ばれることにも決まった。ジャジャ子は陸上はもちろんのこと、バレー、サッカー、野球などにも力を入れ、郷土のスポーツの発展に一身を捧げた功績が認められ、全国体育協会本部長となる。

川又に伝わる狐話 最終話(全八話)

八方山 エンツ子

八方の由来は、一ツ木戸のある、三角義美の土地の名である。八方口は、八方の山林の名付けの発祥地でもある。

八方山の三台倉大松は樹齢五百年の大松で、幹周リ十五尺、枝下二十五尺。枝は三本に分かれ、見事な枝振り、東西南北、どこから見てもその見事さが変わらない、不思議な名木である。その台に座っているのは、まさに山神に見える。

この山にいるエンツ子は、中国に留学し漢方を学び、どんな病をもその漢方で治すことができた。

また、高齢者問題、厚生年金、学校給食の食中毒問題、公害など、数多くの健康、環境問題に力を入れ、後に厚生大臣となる。

『浄法寺 川又郷』著 三角竹彦より

地域の宝さがしの歩み ～浄法寺川又編～

2013

6月某日<地域の方との出会い>
地域の方の話しを聞き、魅力を感じました。



9月2日<地域の宝さがしスタート!>
地域づくり専門家と共に、模造紙に宝を記入しました。初回ににも関わらず多くの宝が挙がりました。



2014

1月30日<地域のお宝発表会>
調査の結果を発表しました。川又が誇る宝を再発見できました。

3月31日<御山街道修復開始>
天台寺に続く御山街道を利用できる宝に変えるために修復を開始しました。



10月30日<市民向け勉強会>
開通した御山街道をメインに川又地域内を歩き、勉強会をしました。



2015

2月23日<資源リストの発行>
これまでの活動で明らかになった川又地区や周辺地域の宝をまとめることができました。

運命的な出会いで始まった浄法寺川又の宝さがし。皆様と共に宝を探し、そして磨くことでこの地域にしかない自慢の宝が少しずつ形あるものになってきました。
記念すべき協力隊新聞10号では、これまでの歩みを(ザックリとですが)ご紹介いたします。

御山街道沿いの宝をまとめました

今年度は、足沢から川又、宮沢を通り天台寺に続く「御山街道」の修復を活動の中心にしてきました。住民の方のご理解やご協力があり、街道の開通や資源の発掘を行うことが出来ました。ありがとうございました。

この度、皆様から聞いたものを資源リスト集としてまとめました。シビックセンター内の宝の展示スペースに置かせていただいているので、展示している御山街道マップと合わせて、ご覧になってください。今までにはない、天台寺の歴史が楽しめます。

川又の狐のメッセージとは?

全8回にわたり紹介してきた、川又に伝わる狐話も本号で最後となりました。

読み進めていくと「えっ」と思うような展開があり、毎回個性溢れる愉快なお話でした。お気づきの方もいるかと思いますが、紹介したお話は最近のものであり、多くの方が思う狐の昔話とは違った形で読まれたと思います。

ですが、「なぜ狐が主人公でないといけなかったのか。」「なぜ、八匹全員が地域貢献し終えているのか。」「色々興味湧いてきます。狐と二戸地域との関係性や、社会貢献の大切さを問うメッセージなのかと個人的には思っています。

皆様にはどんな風を感じることができたお話だったでしょうか?

